

地域のネットワークと連携した避難所運営訓練

武蔵野消防署

当署では、6月11日(土)、避難所として運営が想定される市内小学校で、自主防災組織と連携した防災訓練を3年振りに行いました。当日は、消防署、市防災課の支援のもと5年生児童84名が参加しました。保護者は見学のみの参加でしたので、訓練は児童が中心となって行いました。訓練に参加した児童には、自分たちだけでやるという真剣な姿勢が見られ、訓練後のアンケートでもほとんどの児童が「参加して良かった」と答えていました。「以前のように、地域のたくさんの方が参加できるように防災訓練に戻していけたら」という組織スタッフの強い意向のもと、その第一歩となるプロジェクトになりました。

